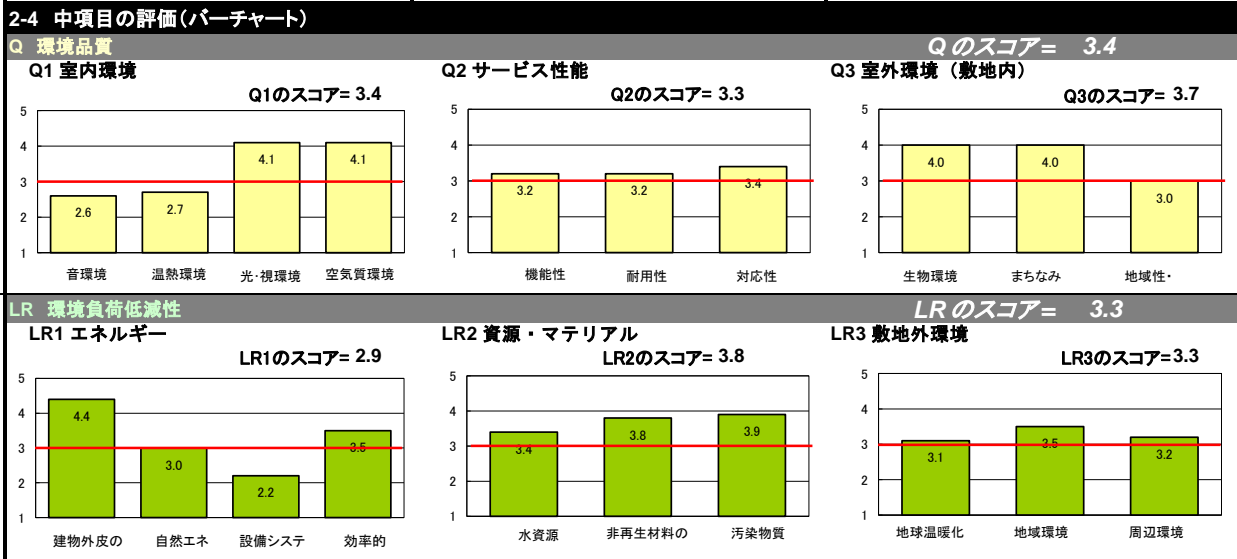
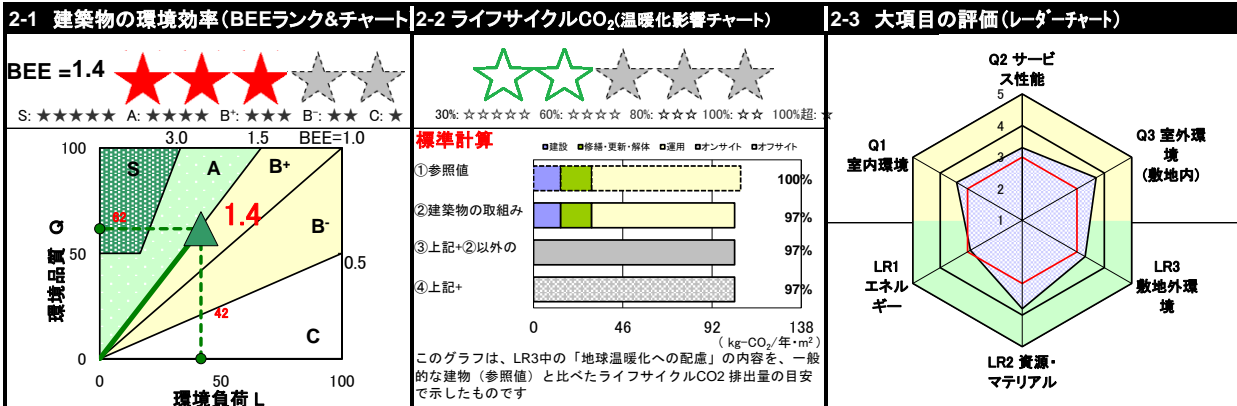


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	GLP相模原プロジェクト SITE1(共用棟)	階数	地上2F
建設地	相模原市中央区田名字白雨台3532番3外	構造	S造
用途地域	工業専用地域、法第22の指定地域	平均居住人員	200人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,085時間/年(想定値)
建物用途	事務所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年8月 予定	評価の実施日	2020年6月26日
敷地面積	14,831 m <sup>2</sup>	作成者	株式会社竹中工務店東京一級建築士事務所
建築面積	2,903 m <sup>2</sup>	確認日	2020年6月26日
延床面積	2,515 m <sup>2</sup>	確認者	株式会社竹中工務店東京一級建築士事務所



3 設計上の配慮事項	
総合	相模原市中央区に事務所用途の鉄骨造・地上2階建ての厚生施設を計画。
その他	-
Q1 室内環境	・給気は排気口との距離を十分な距離を確保し、室内空気質環境を良好に保つための配慮をしている。
Q2 サービス性能	・ゆとりある天井高、リフレッシュスペースの確保等により、居住者の快適性に配慮している。 ・ユニット部材の採用や躯体と仕上材が容易に分別可能な構造とし、非再生資源の使用量削減に配慮している。 ・耐用年数の長い材料を採用し、建物の耐用性の向上に配慮している。
Q3 室外環境(敷地内)	・空地部分を積極的に緑化し、緑による良好な景観形成に配慮している。
LR1 エネルギー	・特になし
LR2 資源・マテリアル	・節水型機器の採用により、水資源保護に配慮している。 ・ユニット部材の採用や躯体と仕上材が容易に分別可能な構造とし、非再生資源の使用量削減に配慮している。 ・GWP値の低い断熱材を使用し、フロンの使用を回避している。
LR3 敷地外環境	・駐車場55台確保、導入路の幅15mとし、渋滞緩和に配慮した交通計画としている。 ・総合効率の高いLED照明の採用によりエネルギーの有効利用に配慮した屋外照明計画としている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される